

医療健康テーマ
講座スタート

包括連携協定

川崎学園と倉敷市

包括連携協定を結ぶ

川崎学園(倉敷市松島)

と同市が21日、医療や

健康をテーマにした

市民公開講座をくら

しき健康福祉プラザ

(同市笹沖)でスター

トさせた。同学園の医

療・医療福祉分野の

研究者らが講師を務

め、本年度は計10回開

く。

初回は乳がんの予防

や治療法などについ

て、川崎医科大付属病

院の園尾博司病院長、
同大の紅林淳一・乳腺
甲状腺外科学教授ら4
人が話した。

園尾病院長は、乳が

んは女性の11人に1人

が生涯で発症し、年約

1万4千人が死亡して

いると説明。授乳や運

動、禁煙に予防効果が

あるとした。「早期発

見であれば9割方は治

る」と話し、定期的な

自己検診や医療機関へ

の受診を訴

えた。

紅林教授

は、がん細

胞を見分け

て狙い撃ち

する「分子

標的薬」な

どを紹介

し、「患者

の負担を軽

減するため

に治療は日



医療や健康をテーマに始まった
市民公開講座

々進化している」と強
調した。
市民ら約230人が
聴いた。次回は5月19
日、健康寿命の延伸を
題材に同プラザで開
く。無料。(石井聡)